

【国語・小5・「世界遺産 白神山地からの提言－意見文を書こう－」①】

育成を目指す資質・能力

- (知識及び技能) 原因と結果など情報と情報との関係について理解することができる。(2)ア
(思、判、表等) 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。Bウ
(学びに向かう力、等) 言葉が持つよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

ICT活用のポイント

○引用した資料のスピーディーな視覚的共有と交流した意見の即時共有

【つかむ】
自分の考えと集めた材料を確認し、
学習の見直しをもつ

【追究する】
引用した資料を提示しながら、
自分の考えを友達に説明する

【追究する】
ワークシートに友達への助言を記入したり、
自分の意見の修正や付け足しを行ったりする

【まとめる】
参考になった発表や助言を共有し、引用の
目的について考察する

事例の概要

○引用した資料と自分の考えとの関係が適切であるかについて確認し合い、友達の発表や助言を参考にしながら意見の修正を行う。

【事例におけるICT活用の場面①】

○発表者は引用した資料を提示し、根拠となる箇所を指し示しながら、自分の考えを説明する。

【事例におけるICT活用の場面②】

- 共有した友達のワークシートに、よかった点や改善点を入力する。
○友達の発表から新たに気付いたことやワークシートに記入された内容を参考にしながら、自分の意見を修正する。

【国語・小5・「世界遺産 白神山地からの提言－意見文を書こう－」②】

【事例におけるICT活用の場面①】



画像をスライドさせるだけで、瞬時に複数の資料を提示することができるため、机の上も整理され学習活動に集中することができる。

- 発表者が引用した資料を端末に映しながら、自分の考えを相手に伝えた。引用した資料の中で、意見の根拠となる箇所については、画像を拡大することで、資料と自分の考えの関連をより一層明らかにしながら伝えることができた。
- 互いのワークシートをグループで共有し、聞き手は端末画面上で発表者のワークシートを見ながら、提示された資料と考えの関係が適切であるかについて考えることができた。

【活用したソフトや機能】

- 画像再生
- 学習支援ソフト
・ファイル共有

【事例におけるICT活用の場面②】



共有により同時に複数の友達から助言を受け取ることができ、多くの助言を参考にすることができる。

- 互いの発表が終わった後、ホワイトボードに貼り付けたワークシートに付箋メモ機能を使い、分かりやすかった点や改善点についてコメントを入力した。ワークシートの共有を図ることで、一人に対し同時に複数の友達がコメントを入力することができていた。また、入力の内容が画面上で確認できるため、助言の書き方が分からない児童も友達の内容を参考にしながら助言を入力することができた。
- 助言の入力を終えた児童から、自分の意見の修正する活動に移ることができ、個に応じた学びの時間を確保することができた。